

平成24年3月27日

上田市長 母 袋 創 一 様

塩田地域協議会
会長 大 口 義 明

意 見 書

上田市地域自治センター条例に基づき、下記のとおり地域協議会の意見書を提出します。

記

1 件 名	地域予算の拡充と決定システムの構築について
2 意見内容	塩田地域では、75歳以上の高齢者を対象とした「困りごと」アンケート調査を、自治会連合会の協力のもと実施しました。調査結果では、高齢化に伴う体力の低下から、家の周囲の雪かきや除草、布団干しなどの手助けや話し相手の必要性を訴える声が多数ありました。他には、公共交通の不便な地域にあっては、買物や通院に不便を感じるという意見もありました。 地域では、買物や病院などへの送迎ボランティアによる、地域で解決しようとする機運が少しずつではありますが高まってきている実態もあります。 地域内分権の確立に向けた第4ステージの展開では、地域の自主性や主体性、創造性を高めて地域力が発揮される姿にあるとしています。行政は、地域課題を地域住民と共有して、共に考え解決していく体制を整えて、住民参加と協働のまちづくりを進めるとしており、地域内分権に資するために地域予算の拡充と決定システムが必要であるとしています。 地域内分権の推進にあたりましては、地域振興事業基金の積極的な活用や、地域の裁量で活用できる地域振興対策事業費の拡充など、各地域の個性を活かして実情に応じた主体的なまちづくり活動が、地域自治センターを中心に展開できるように、早急な地域予算の拡充と決定システムの構築を強く要望いたします。

平成24年3月27日

上田市長 母 袋 創 一 様

塩田地域協議会
会長 大 口 義 明

意 見 書

上田市地域自治センター条例に基づき、下記のとおり地域協議会の意見書を提出します。

記

1 件 名	地域公共交通の充実について
2 意 見 内 容	上田市では、安心して快適な市民生活を送るうえで必要不可欠な公共交通の維持確保に向けまして、「公共交通活性化プラン」に基づき、本年度から国の新たな補助制度である「地域公共交通確保維持改善事業」を活用して、路線バスや循環バスの維持確保と別所線再生のための安全対策支援を実施していただいているところであります。 しかしながら、依然として公共交通の利用者は減少しており、危機的な状況に直面しております。 市では新たな施策として、特に都市機能として不可欠なバス路線の維持確保及び活性化を目指して、新たな視点と逆転の発想を持って多様な利用目的や効果を生み出す「路線バスの運賃低減策」の実現に取り組まれると聞いております。 塩田地域では、安心して暮らせるまちづくりに不可欠な公共交通ネットワークの維持確保に向けて、「乗って残す」「乗らなければなくなる」をキーワードに引き続き積極的に利用する運動を展開してまいりますので、地域公共交通の充実に向けて引き続き上田市からの公的支援を賜りますよう強く要望いたします。